



# 大阪市立 南百済小学校

所在地 〒546-0013 東住吉区湯里1-15-40

電話番号 06-6701-0207

HPアドレス <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741695>

校長名 岩倉 孝治

標準服 有

集団登校 有



## 学校の紹介

明治7(1874)年林覚寺という校区にあるお寺に仮の教室を設け、住吉郡4番小学校として開校。その翌年に校舎が湯谷島という所に建設されました。やがて、東田辺・鷹倉・今川・湯里の各小学校が本校から分離・独立していきます。平成23(2011)年度には中運動場が芝生化。今年6月1日には創立148周年を迎えました。中運動場には低学年用雲ていが設置され、図書館はリフォームされました。



## 学校の施設

南百済小学校には、「なかうん」、「ひがうん」という愛称で親しまれている2つの運動場があります。前者が中運動場で、平成23(2011)年度に芝生化。児童は芝生の感触を確かめながら、おにごっこなどを楽しんでいます。後者の東運動場では、広大な敷地を生かして、サッカーやドッジボールなどの球技を楽しんでいます。土曜日には児童が安心して遊べるようにと校庭が開放されます。ソフトボール、サッカー、バスケボールなどの社会体育も盛んに行われています。



## 総合的な学習の内容

- ①南百済小学校では、ゲストティーチャーを招へいして数々の出前授業を実施しています。2年生の「昔遊びの体験」では地域の方々にはけん玉、ビー玉、お手玉、竹とんぼなどの昔の遊びを、3年生の「昔の道具体験」では、洗濯板を用いた洗濯や七輪を使ったもち焼きなどを教えていただきます。児童は貴重な体験をするだけでなく、地域の方々との交流を深めています。
- ②本校では福祉教育にも力を入れています。3年生では盲導犬とのふれあいを、4年生では車いす体験を、6年生では認知症キッズサポーター講座を受けたり福祉施設を訪問したりしています。



## 地域との連携

- ①地域のボランティア「南百済グリーンクラブ」の方々が、子どもたちが安心して遊べる「なかうん」の芝生を管理していただいております。年中、ふかふかな芝生で遊ぶことができます。キッズサポーターとしてお手伝いをして参加する子どももいます。
- ②毎月の土曜日に「ふれあい食堂」と「芝生食堂」がそれぞれ1度開設されます。子どもたちの「居場所」「子育て中の親のリフレッシュの場」として利用でき、家庭・地域が連携し、一丸となって子どもや保護者の方々を見守っていただいております。



## 学校図書館等の整備・活動状況

活字離れが危惧される中、児童が本に親しみ、読書の習慣が身に付くように、学校・保護者・地域が協力してさまざまな取り組みを進めています。朝の帯タイムを活用した一斉読書や図書ボランティアによる読み聞かせなどはその一例です。本に興味をもつように図書委員会の児童が手作りしおりを配布したり、図書館クイズをしたりと頑張っています。



## 防災対策に関する情報

南百済地域では「子どもの安全に関わる積極的な活動を！」という気運が高まり、平成17(2005)年4月、学校・保護者・地域がネットワークを組んで、学校支援子ども見守り隊「まもるんジャー」が結成されました。黄色いゼッケンやジャンパーを着た地域住民の多くの方々やPTA 郊外指導委員の方々との協力しながら、「ごほうびは子どもたちの笑顔」を合言葉にして、子どもたちの登下校の安全を見守っています。毎年4月下旬には、まもるんジャーの方々との対面式を行い、いっしょに下校するのが恒例となっています。



## 学校概要

### 校訓、教育目標、目指す子ども像

- ①校訓：自主 創造 協同 責任
- ②教育目標：確かな学力・豊かな人間性・心身ともに健康な子どもを育てる
- ③目指す子ども像
  - 自ら学ぶ子ども（学力向上）
  - 互いの違いを認め合える子ども（道徳心・社会性の育成）
  - いきいきと生活する子ども（健康・体力の保持増進）
 （すべての教育活動の基盤に人権尊重の精神を）

## 運営に関する計画

### ①安全・安心な教育の推進

- いじめ解消の取組実現
- 規範意識の向上
- 自尊感情の醸成

### ②未来を切り拓く学力・体力の向上

- 個に応じた指導の充実
- 話し合い活動の充実
- 50m走の記録向上

### ③学びを支える教育環境の充実

- 学習者用端末の積極的活用
- 読書活動の充実

## 児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	95	77	83	80	77	61	473
学級数	3	2	2	2	2	2	13
特別支援学級							9

## 学力調査結果

	国語	算数
平均正答率(%)	67	71

平均正答率については、国語科は全国の平均を2.3ポイント、算数科は全国の平均を0.8ポイント上回った。国語科においては、読む力の向上に重点をおき指導してきたことで、内容の読み取りに伸びが見られた。今後は、読み取った内容から、自分が思ったことや考えたことを授業の中で発表するだけでなく、交流することで自分の考えや意見を広げたり深めたりするよう指導を工夫していく。漢字の指導では、漢字の持つ意味を考えながら文や文章の中で正しく使うことができるように、多種多様な練習問題に取り組みさせていく。また朝の一斉読書タイムや読み聞かせ活動など本に親しむ活動を今後も継続していく。算数科においては、全ての単元で習熟度別授業やT.Tによる指導を行ってきたことで、一定の成果が見られている。今後も引き続き個に応じた指導を充実させていく。また、朝学習や放課後の時間を使い、練習問題に取り組み、知識が定着できるようにしていく。

※全国・大阪市の平均についてはP10を参照

## 体力・運動調査結果

種目別平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子		17.56	19.16	33.36	42.76	60.91	9.10	151.21	23.03	56.22
女子		17.11	15.07	37.85	37.70	37.48	9.73	135.93	14.04	52.81

本校では、令和元年度から走の力を伸ばすために、体育科の学習の準備運動に全学級で走の運動を取り入れたり、「50m 走ろう会」という取り組みを始め、走の運動に親しむ機会を増やしたりしてきた。平成28年度の結果より50m走の記録を0.2ポイント向上させるといった目標を立て、毎年達成させることもできた。令和3年度の結果から、特に女子は運動することに対して苦手意識をもっている児童が男子に比べて多く、運動に親しむ時間も比較的小さいことが分かった。体育科の時間だけでなく、日常の中で遊びの要素を取り入れながら体を動かすことの楽しさを感じられるように積極的に外遊びを推奨していく。また、これまで取り組んできた「50m 走ろう会」を継続し、男子に続いて女子も全国平均に肩を並べられるように走の運動の機会を増やしていく。男子においては唯一全国平均を下回った上体起こしでも全国平均を上回るように、運動前後の柔軟体操を充実させたり、家庭での風呂上がりや睡眠前後のストレッチの方法を伝授したりして、日常の中で運動機能を向上させられるように呼びかけていく。

※全国・大阪市の平均についてはP10を参照